

研究講習事業報告

学発番号: 学23-048

事業名: 臨床化学免疫血清研修会

日時: 令和6年2月13日(火) 18:30~20:00

場所: web

主題1: (ビデオ講演) 甲状腺疾患の診断と治療をサポートする臨床検査 基礎からデータ解釈ま

講師1: 猪俣 啓子 先生(純真学園大学 保険医療学部 検査科学科 教授)

主題2: 免疫チェックポイント阻害剤による内分泌関連有害事象(irAE)と臨床検査

講師2: 福辻 真由 氏(富士フイルム和光純薬株式会社 西日本学術部)

参加数: 24名(京臨技会員:20名)

報告者: 岡崎 一幸(京都大学医学部附属病院検査部)

以下、講演内容など

前半のビデオ講演では甲状腺関連検査(TSH/FT4/FT3)の変動に関する解説動画でした。血液検体採取のタイミングによっては甲状腺関連項目のバランスが悪いようにも見えるため注意が必要だと解説されていました。また、後半の免疫チェックポイント阻害剤によるirAEは広範囲にわたるため薬剤投与後は注意深くモニタリングしていく必要があることについてご講演頂きました。irAEによって変動する検査項目は特異性がなく、irAEだという事の判別は困難であるがコルチゾールやACTHを駆使してモニタリングしていくことが重要であるとの事でした。